

初版作成日：2016年04月26日

改訂日：2020年03月02日

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：キクスイ SPファインコート(艶消し)

製品番号 (SDS NO)：SPFC-5

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：菊水化学工業株式会社

住所：愛知県名古屋市中区錦2丁目19番25号

担当部署：汎用塗料事業本部 生産部

電話番号：058-371-5301

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 3

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 1

発がん性：区分 1B

生殖毒性：区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2

環境有害性

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 2

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

長期継続的影響によって水生生物に毒性

特定の健康有害性

有機溶剤中毒を起こす恐れがある。

特定の物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：  
混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	化管法政令番号
アクリル酸エチル	< 1	140-88-5	2-988	1-003
トリメチルベンゼン	< 1	25551-13-7	3-7; 3-3427	-
酢酸ビニルモノマー	< 1	108-05-4	2-728	1-134
1,3,5-トリメチルベンゼン	1.5	108-67-8	3-7; 3-3427	1-297
エチルベンゼン	< 1	100-41-4	3-28;3-60	1-053
キシレン(異性体混合物)	< 1	1330-20-7	3-3;3-60	1-080
メタクリル酸メチル	< 1	80-62-6	2-1036	1-420
スチレン	< 1	100-42-5	3-4	1-240
ミネラルスピリット	10 - 20	8052-41-3	9-1702	-
1,2,4-トリメチルベンゼン	2.4	95-63-6	3-7; 3-3427	1-296
クメン	< 1	98-82-8	3-22	1-083
低沸点芳香族ナフサ	1 - 10	64742-95-6	9-1691;9-169 8;9-1700;9-2 578	-
メタノール	1 - 10	67-56-1	2-201	-
ミネラルスピリット	< 1	64742-88-7	9-1698; 9-1700	-
C.I. ピグメントレッド 19	0 - 10	1047-16-1	5-1167	-
酸化第二鉄	0 - 40	1309-37-1	1-357	-
C.I. ピグメントイエロー 154	0 - 10	68134-22-5	5-5278	-
C.I. ピグメントグリーン 7	0 - 10	1328-53-6	5-3315	-
カーボンブラック	0 - 10	1333-86-4	-	-
C.I. ピグメントブルー 15	0 - 10	147-14-8	5-3299	-
エチレングリコールモノブチルエーテル	< 1	111-76-2	2-407;2-2424	-
二酸化チタン	0 - 30	13463-67-7	1-558	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

1,3,5-トリメチルベンゼン, エチルベンゼン, キシレン(異性体混合物), ミネラルスピリット, 1, 2,4-トリメチルベンゼン, 低沸点芳香族ナフサ, メタノール, 酸化第二鉄, C.I. ピグメントグリーン 7, カーボンブラック, C.I. ピグメントブルー 15, 二酸化チタン

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

アクリル酸エチル, 酢酸ビニルモノマー, 1,3,5-トリメチルベンゼン, エチルベンゼン, キシレン(異性体混合物), メタクリル酸メチル, スチレン, ミネラルスピリット, 1,2,4-トリメチルベンゼン, クメン, 低沸点芳香族ナフサ, メタノール, 酸化第二鉄, C.I. ピグメントグリーン 7, カーボンブラック, C.I. ピグメントブルー 15, エチレングリコールモノブチルエーテル, 二酸化チタン

化管法「指定化学物質」該当成分

1,3,5-トリメチルベンゼン, 1,2,4-トリメチルベンゼン

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。

直ちに医師に連絡すること。

#### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

直ちに医師の診察/手当てを受けること。

#### 皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

衣類にかかった場合: 服を脱ぐ前に、直ちに汚染された衣類及び皮膚を多量の水で洗うこと。

多量の水と石鹸で優しく洗う。

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

#### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。

眼をこすらせてはならない。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

医師にばく露物質名、防護のための注意を通知する。

#### 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

飲み込んだ場合、直ちに医師の診察を受け、医師にその容器又はラベルを見せる。

#### 医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

---

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

#### 使ってはならない消火剤

水を使用してはならない。

### 特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

### 消火を行う者への勧告

#### 特有の消火方法

適当な距離から注意して消火すること。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

漏えいした場合、着火源を除去すること。

火災の場合: 安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

#### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

適切な保護具を着用する。

こぼれた場所はすべりやすいため注意する。

着火源を取除くとともに換気を行う。  
風上から作業し、風下の人を退避させる。  
安全に対処できる場合は漏洩を止める。

#### 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

#### 二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

回収物の廃棄方法については、専門家の指示を求める。

安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

##### (取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

##### (火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

##### (局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

##### (注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

### 安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

### 衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

休憩、終業時は手を洗う。

休憩、終業時はうがいする。

### 保管

#### 安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

- 国際/国/地方の規則に従って保管すること。
- 施設して保管すること。
- 指定温度以下の温度で保管すること。涼しいところに置くこと。
- (避けるべき保管条件)
- 日光から遮断し、50°C以上の温度にばく露しないこと。
- 飲食物、動物用飼料から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

#### 管理濃度

- (エチルベンゼン)
- 作業環境評価基準(2012) <= 20ppm
- (スチレン)
- 作業環境評価基準(2004) <= 20ppm
- (エチレングリコールモノブチルエーテル)
- 作業環境評価基準(1995) <= 25ppm
- (キシレン(異性体混合物))
- 作業環境評価基準(2004) <= 50ppm
- (メタノール)
- 作業環境評価基準(1995) <= 200ppm

#### 許容濃度

- (エチルベンゼン)
- 日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m<sup>3</sup>
- (スチレン)
- 日本産衛学会(1999) 20ppm; 85mg/m<sup>3</sup> (皮)
- (1,3,5-トリメチルベンゼン)
- 日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m<sup>3</sup>
- (エチレングリコールモノブチルエーテル)
- 日本産衛学会(2017) (最大値) 20ppm; 97mg/m<sup>3</sup> (皮)
- (キシレン(異性体混合物))
- 日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m<sup>3</sup>
- (二酸化チタン)
- 日本産衛学会(2013) 0.3mg-ナノ粒子/m<sup>3</sup>
- (メタノール)
- 日本産衛学会(1963) 200ppm; 260mg/m<sup>3</sup>
- (メタクリル酸メチル)
- 日本産衛学会(2012) 2ppm; 8.3mg/m<sup>3</sup>
- (1,2,4-トリメチルベンゼン)
- 日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m<sup>3</sup>
- (クメン)
- 日本産衛学会(2019) 10ppm; 50mg/m<sup>3</sup> (皮)
- (エチルベンゼン)
- ACGIH(2010) TWA: 20ppm (上気道刺激; 腎臓障害; 渦巻管損傷)
- (スチレン)
- (ACGIH(1996) TWA: 20ppm;
- STEL: 40ppm (中枢神経系損傷; 上気道刺激; 末梢神経障害))
- (酢酸ビニルモノマー)
- ACGIH(2017) TWA: 10ppm;
- STEL: 15ppm (上気道及び眼刺激)
- (エチレングリコールモノブチルエーテル)
- ACGIH(1996) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激)
- (酸化第二鉄)
- ACGIH(2005) TWA: 5mg/m<sup>3</sup>(R) (じん肺)

(キシレン(異性体混合物))  
ACGIH(1992) TWA: 100ppm  
STEL: 150ppm (上気道及び眼刺激; 中枢神経系損傷)

(カーボンブラック)  
ACGIH(2010) TWA: 3mg/m<sup>3</sup>(I) (気管支炎)

(二酸化チタン)  
ACGIH(1992) TWA: 10mg/m<sup>3</sup> (下気道刺激)

(アクリル酸エチル)  
ACGIH(1986) TWA: 5ppm;  
STEL: 15ppm (上気道, 胃腸及び眼刺激; 中枢神経系損傷; 皮膚感作)

(トリメチルベンゼン)  
ACGIH(1970) TWA: 25ppm (中枢神経系損傷, 喘息, 血液影響)

(メタノール)  
ACGIH(2008) TWA: 200ppm;  
STEL: 250ppm (頭痛; 眼障害; めまい; 吐き気)

(メタクリル酸メチル)  
ACGIH(1992) TWA: 50ppm;  
STEL: 100ppm (上気道及び眼刺激; 体重影響; 肺浮腫)

(ミネラルスピリット)  
ACGIH(1980) TWA: 100ppm (眼, 皮膚及び腎臓障害; 吐気; 中枢神経系損傷)

(クメン)  
ACGIH(1997) TWA: (50ppm) (眼, 皮膚及び上気道刺激; 中枢神経系損傷)  
注釈(症状、摂取経路など)

(メタノール)  
皮膚吸収  
(メタクリル酸メチル)  
皮膚感作性

#### ばく露防止

##### 設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。  
手洗い/洗顔設備を設ける。

##### 保護具

##### 呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

##### 手の保護具

保護手袋を着用する。

##### 眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：粘稠液体

臭い：溶剤臭

pH：適用外

沸点又は初留点：130℃

引火点：(低沸点芳香族ナフサ)38℃

---

## 10. 安定性及び反応性

### 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

---

## 11. 有害性情報

### 毒性学的影響に関する情報

#### 急性毒性

##### 急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500mg/kg (EHC 186, 1996)

(スチレン)

rat LD50=2650mg/kg (環境省リスク評価第13巻, 2015)

(酢酸ビニルモノマー)

rat LD50=2900mg/kg (環境省リスク評価第2巻, 2003)

(エチレングリコールモノブチルエーテル)

rat LD50=470917mg/kg (環境省リスク評価第6巻, 2008)

(C.I. ピグメントグリーン 7)

rat LD50>2000mg/kg (厚労省既存化学物質毒性DB, (Access on Sep. 2016)、SIDS (2010))

(キシレン(異性体混合物))

rat LD50=3500 - 8800mg/kg (NITE有害性評価書, 2008)

(二酸化チタン)

rat LD50 >5000mg/kg (SIDS, 2015)

(アクリル酸エチル)

rat LD50=約550mg/kg (DFGOT vol. 6, 1994)

(C.I. ピグメントブルー 15)

rat LD50>10000mg/kg (SIDS, 2002)

(メタノール)

human LD50=ca. 1400mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

(メタクリル酸メチル)

rat LD50=7800mg/kg (ACGIH 7th, 2015), 7900mg/kg, 8500mg/kg, 9400mg/kg (以上ECETOC JACC30, 1995)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

female rat LD50=5000mg/kg (RTECS, 2008)

(クメン)

rat LD50=2700mg/kg (EU-RAR, 2001)

##### 急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(酢酸ビニルモノマー)

rabbit LD50=2340mg/kg (ECETOC JACC No.18, 1991)

(エチレングリコールモノブチルエーテル)

rabbit LD50=220mg/kg (ATSDR, 1998)

(キシレン(異性体混合物))

rabbit LD50=1700mg/kg (EPA Pesticide, 2005)

(二酸化チタン)

hamster LD50>10000mg/kg (HSDB, Access on May 2016)

(アクリル酸エチル)

rabbit LD50=1790mg/kg (ACGIH 7th, 2001)

(メタノール)

rabbit LD50=15800mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

(メタクリル酸メチル)

rabbit LD50 > 5000mg/kg (EU-RAR, 2002)

##### 急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

vapor: rat LC50=4000ppm/4hr (PATTY 6th, 2012)

(スチレン)

vapor: rat LC50=2770ppm/4hr (環境省リスク評価第13巻, 2015)  
 (酢酸ビニルモノマー)  
 vapor: rat LC50=3200-4490ppm (CERI/NITE有害性評価書, 2006)  
 (エチレングリコールモノブチルエーテル)  
 vapor: rat LC50=450ppm/4hr (SIDS, 2007)  
 (キシレン(異性体混合物))  
 vapor: rat LC50=6350-6700ppm/4hr (NITE有害性評価書, 2008)  
 (二酸化チタン)  
 dust: rat LC50 >5.09mg/L (SIDS, 2015)  
 (アクリル酸エチル)  
 vapor: rat LC50=1000-2000ppm/4hr (PATTY 6th, 2012)  
 (メタノール)  
 vapor: rat LC50>31500ppm/4hr (DFGOT vol.16, 2001)  
 (メタクリル酸メチル)  
 vapor: rat LC50=7093ppm/4hr (ECETOC JACC 30, 1995; EU-RAR, 2002; ACGIH 7th, 2015); < 飽和蒸気圧濃度 (38614ppm) の90%  
 (クメン)  
 vapor: rat LC50=2000ppm/4hr (DFGMAK-Doc.13, 1999)

労働基準法: 疾病化学物質

アクリル酸エチル; メタクリル酸メチル; メタノール; キシレン(異性体混合物); スチレン

#### 局所効果

##### 皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(スチレン)

ラビット 著しい刺激及び部分的な変性 (NITE初期リスク評価書, 2007)

(酢酸ビニルモノマー)

ラビット 軽度の刺激 (CERI/NITE有害性評価書, 2006)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

ラビット 中等度から重度の刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2008)

(エチレングリコールモノブチルエーテル)

ラビット 刺激性 (SIDS, 2006)

(酸化第二鉄)

ヒト 中等度の刺激性 (ICSC(J), 2004 et al)

(キシレン(異性体混合物))

ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書, 2008)

(アクリル酸エチル)

ラビット 14日以内に回復した (SIDS, 2008)

(トリメチルベンゼン)

動物 一次刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

(メタクリル酸メチル)

ヒト 刺激性 (EU-RAR, 2002); ラビット 刺激性 (EU-RAR, 2002); EU CLP Skin Irrit. 2 (ECHA CL In

vt., Access on Jun. 2017)

(ミネラルスピリット)

ラビット 中等度の刺激性 (EHC 187, 1996)

##### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

ラビット 軽度の刺激性 (EHC 186, 1996)

(スチレン)

ラビット 中等度の刺激(7日間持続) (NITE初期リスク評価書, 2007)

(酢酸ビニルモノマー)

ラビット 強度の刺激性 (CERI/NITE有害性評価書, 2006)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

ラビット 軽度の刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2008)



(エチレングリコールモノブチルエーテル)  
 ラビット (OECD TG405, GLP) 21日後に回復 (ECETOC TR95, 2005)  
 (酸化第二鉄)  
 ヒト 腐食性 (IUCLID, 2000)  
 (キシレン(異性体混合物))  
 ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2008)  
 (アクリル酸エチル)  
 ヒト 強い刺激性 (ACGIH 7th, 2001)  
 (トリメチルベンゼン)  
 眼刺激性 (HSDB, 2014)  
 (メタノール)  
 ラビット 区分2: Draize test (EHC 196, 1997)  
 (メタクリル酸メチル)  
 ラビット 刺激性 (EU-RAR No.22, 2002; ACGIH 7th, 2015)  
 (クメン)  
 ラビット 5日以内に回復 (ACGIH, 2001)

**呼吸器感作性又は皮膚感作性**  
 感作性[厚労省局長通達]  
 アクリル酸エチル; メタクリル酸メチル

**呼吸器感作性**  
 [日本公表根拠データ]  
 (メタクリル酸メチル)  
 cat. 1; 産衛学会, 2012

**皮膚感作性**  
 [日本公表根拠データ]  
 (アクリル酸エチル)  
 cat. 1; DFGOT vol.16, 2001  
 (メタクリル酸メチル)  
 cat. 1; EU-RAR No.22, 2002; 産衛学会, 2012; EU CLP (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017)

**生殖細胞変異原性データなし**

**発がん性**  
 [日本公表根拠データ]  
 (エチルベンゼン)  
 cat.2; IARC Gr. 2B (IARC, 2000 et al.)  
 (スチレン)  
 cat.2; IARC Gr. 2B (IARC vol. 82, 2002)  
 (酢酸ビニルモノマー)  
 cat.1B; (厚生労働省癌原性試験, 1995)  
 (カーボンブラック)  
 cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)  
 (二酸化チタン)  
 cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)  
 (クメン)  
 cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 101, 2011)  
 (エチルベンゼン)  
 IARC-Gr.2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない  
 (スチレン)  
 IARC-Gr.2A : ヒトに対しておそらく発がん性がある  
 (酢酸ビニルモノマー)  
 IARC-Gr.2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない  
 (エチレングリコールモノブチルエーテル)  
 IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない  
 (酸化第二鉄)  
 IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

(キシレン(異性体混合物))

IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(カーボンブラック)

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(二酸化チタン)

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(アクリル酸エチル)

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(メタクリル酸メチル)

IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(クメン)

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(エチレングリコールモノブチルエーテル)

ACGIH-A3(1996): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(カーボンブラック)

ACGIH-A3(2010): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(アクリル酸エチル)

ACGIH-A4(1986): ヒト発がん性因子として分類できない

(エチルベンゼン)

ACGIH-A3(2010): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(酸化第二鉄)

ACGIH-A4(2005): ヒト発がん性因子として分類できない

(メタクリル酸メチル)

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

(スチレン)

ACGIH-(A4)(1996): ヒト発がん性因子として分類できない

(二酸化チタン)

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

(酢酸ビニルモノマー)

ACGIH-A3(1992): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(キシレン(異性体混合物))

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

(アクリル酸エチル)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(エチルベンゼン)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(カーボンブラック)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(クメン)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(酢酸ビニルモノマー)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(スチレン)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(二酸化チタン)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(ミネラルスピリット)

EU-発がん性カテゴリ1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

(低沸点芳香族ナフサ)

EU-発がん性カテゴリ1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

(酢酸ビニルモノマー)

EU-発がん性カテゴリ2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

cat. 1B; 産衛学会許容濃度の提案理由書, 2014

(キシレン(異性体混合物))

cat. 1B; ATSDR, 2007

(スチレン)

cat. 1B; 産衛学会許容濃度の提案理由, 2015

(メタノール)

cat. 1B; mouse : PATTY 5th, 2001

(エチレングリコールモノブチルエーテル)

cat. 2; rat : SIDS, 2006

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

中枢神経系、視覚器、全身毒性 (DFGOT vol.16, 2001)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(トリメチルベンゼン)

気道刺激性 (HSDB, 2014)

(酢酸ビニルモノマー)

気道刺激性 (CERI/NITE有害性評価書, 2006)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

気道刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

気道刺激性 (環境省リスク評価第13巻, 2015)

(スチレン)

気道刺激性 (環境省リスク評価第13巻, 2015)

(ミネラルスピリット)

気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

(クメン)

気道刺激性 (DFGMAK-Doc.13, 1999)

(酸化第二鉄)

気道刺激性 (ICSC(J), 2004; IUCLID, 2000)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(アクリル酸エチル)

麻酔作用 (NITE初期リスク評価書, 2007)

(トリメチルベンゼン)

麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)

(酢酸ビニルモノマー)

麻酔作用 (厚労省指針, 2005)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

麻酔作用 (NITE初期リスク評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

麻酔作用 (ATSDR, 2010)

(キシレン(異性体混合物))

麻酔作用 (NITE有害性評価書, 2008)

(メタクリル酸メチル)

麻酔作用 (ECETOC JACC30, 1995; EU-RAR, 2002; NITE初期リスク評価書, 2008)

(スチレン)

麻酔作用 (環境省リスク評価第13巻, 2015)

(ミネラルスピリット)

麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)

(クメン)

麻酔作用 (EU-RAR, 2001)

(メタノール)

麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)

(エチレングリコールモノブチルエーテル)

麻酔作用 (SIDS, 2007; EU-RAR, 2006)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

中枢神経系、呼吸器 (ACGIH 7th, 2001; 環境省リスク評価第11巻, 2013)

(メタノール)

中枢神経系、視覚器 (ACGIH 7th, 2001)

(酸化第二鉄)

呼吸器系 (ACGIH, 2001)

(カーボンブラック)

呼吸器 (SIDS, 2007)

(二酸化チタン)

呼吸器 (SIDS, 2015)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(ミネラルスピリット)

肝臓、精巣 (HSDB, 2005)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

中枢神経系、肺 (環境省リスク評価第6巻, 2008)

誤えん有害性

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ミネラルスピリット)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.87-1.94 mm<sup>2</sup>/s (25°C)

その他情報

この調合製品自体のデータは得られていない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

水生環境有害性 短期(急性)成分データ

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

甲殻類(ベイシユリンブ) LC50=0.42mg/L/96hr (NITE初期リスク評価書, 2007)

(スチレン)

藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) EC50=0.72mg/L/96hr (環境省リスク評価第13巻, 2015)

(酢酸ビニルモノマー)

魚類(ヒメダカ) LC50=2.39mg/L/96hr (CERI/NITE, 2005)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

甲殻類(オオミジンコ) LC50=6mg/L/48hr (環境省, 2002)

(エチレングリコールモノブチルエーテル)

魚類(シープスヘッドミノー) LC50=116mg/L/96hr (環境省リスク評価第6巻, 2008、他)  
 (C.I. ピグメントグリーン 7)  
 甲殻類(オオミジンコ) EC50=153.6mg/L/48hr, 魚類(ニジマス) LC50=355.6mg/L/96hr (SIDS, 2010)  
 (キシレン(異性体混合物))  
 魚類(ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)  
 (カーボンブラック)  
 甲殻類(オオミジンコ) EC50 >5600mg/L/24hr (SIDS, 2007)  
 (二酸化チタン)  
 甲殻類(オオミジンコ) EL50 > 100mg/L/48hr (SIDS, 2015)  
 (アクリル酸エチル)  
 魚類(メダカ) LC50=1.16mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2007)  
 (トリメチルベンゼン)  
 甲殻類(グラスシュリンプ) LC50=5.4mg/L/96hr (Aquire, 2003)  
 (メタノール)  
 甲殻類(ブラインシュリンプ) LC50=900.73mg/L/24hr (EHC196, 1998)  
 (メタクリル酸メチル)  
 甲殻類(オオミジンコ) EC50=48mg/L/48hr (EU-RAR, 2002)  
 (ミネラルスピリット)  
 甲殻類(オオミジンコ) LC50=0.42-2.3mg/L/48hr (EHC, 1996)  
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)  
 甲殻類(オオミジンコ) EC50=6.14mg/L/48hr (IUCLID, 2000)  
 (クメン)  
 甲殻類(ミシッドシュリンプ) LC50=1.2mg/L/96hr (CICAD18, 1999)

## 水生環境有害性 長期(慢性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)  
 甲殻類(ネコゼミジンコ) NOEC=0.956mg/L/7days (環境省リスク評価第13巻, 2015)  
 (スチレン)  
 藻類(*Pseudokirchneriella subcapitata*) NOEC=0.063mg/L/96hr (環境省リスク評価第13巻, 2015)  
 (C.I. ピグメントグリーン 7)  
 甲殻類(オオミジンコ) NOEC >= 1mg/L/21days (SIDS, 2010)  
 (アクリル酸エチル)  
 甲殻類(オオミジンコ) NOEC=0.19mg/L/21days (環境省リスク評価第11巻, 2013)  
 (メタクリル酸メチル)  
 甲殻類(オオミジンコ) NOEC (繁殖阻害)=3.5mg/L/21days (環境省生態影響試験, 2017); 藻類(*Pseudokirchneriella subcapitata*) NOEC (速度法)= 86mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2017)

## 水溶解度

(エチルベンゼン)  
 0.015 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2007)  
 (スチレン)  
 0.03 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2006)  
 (酢酸ビニルモノマー)  
 溶けにくい (2 g/100 ml, 20°C) (ICSC, 2014)  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン)  
 非常に溶けにくい (ICSC, 2002)  
 (エチレングリコールモノブチルエーテル)  
 混和する (ICSC, 2003)  
 (酸化第二鉄)  
 溶けない (ICSC, 2004)  
 (カーボンブラック)  
 溶けない (ICSC, 2010)  
 (二酸化チタン)  
 溶けない (ICSC, 2002)  
 (アクリル酸エチル)

1.5 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

(C.I. ピグメントブルー 15)

溶けない (ICSC, 2006)

(トリメチルベンゼン)

非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

(ミネラルスピリット)

溶けない (ICSC, 2001)

(メタノール)

100 g/100 ml (PHYSROP\_DB, 2009)

(ミネラルスピリット)

溶けない (ICSC, 2004)

(メタクリル酸メチル)

1.6 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

(クメン)

非常に溶けにくい (0.02 g/100ml, 20°C) (ICSC, 2014)

#### 残留性・分解性

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

BODによる分解度 = 4-18% (既存点検, 1977)

(エチルベンゼン)

急速分解性なし (良分解性; 標準法におけるBODによる分解度: 0% (通産省公報, 1990))

(スチレン)

急速分解性あり (BOD分解度: 100%/14 days; GC分解度: 100%/14 days (通産省公報, 1979))

(酢酸ビニルモノマー)

BODによる分解度: 90% (既存点検)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

BODによる分解度: 0% (既存点検)

(エチレングリコールモノブチルエーテル)

BODによる分解度: 96% (既存点検)

(キシレン(異性体混合物))

急速分解性なし (BODによる分解度: 39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))

(アクリル酸エチル)

急速分解性なし (BOD分解度=51.5%/14 days; TOC分解度=92.6%/14 days; GC分解度=100%/14 days (通産省公報, 1975))

(トリメチルベンゼン)

1,3,5-トリメチルベンゼン\_BODによる分解度: 0% (既存点検)

(ミネラルスピリット)

BODによる分解度: 12 - 13% (EHC187, 1996)

(メタクリル酸メチル)

BODによる分解度: 94.3% (化審法DB, 1976)

(クメン)

急速分解性なし (84/449/EECによる分解度13% (EU-RAR, 2001))

#### 生体蓄積性

(エチルベンゼン)

log Kow=3.15 (PHYSROP\_DB, 2005)

(スチレン)

log Kow=2.95 (PHYSROP\_DB, 2009)

(酢酸ビニルモノマー)

log Pow=0.73 (PHYSROP\_DB, 2009)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

log Pow=3.42 (ICSC, 2002); BCF=342(Check & Review, Japan)

(エチレングリコールモノブチルエーテル)

log Pow=0.83 (PHYSROP\_DB, 2005)

(キシレン(異性体混合物))  
 log Pow=3.16 (PHYSPROP DB, 2005)  
 (アクリル酸エチル)  
 log Pow=1.32 (PHYSPROP DB, 2005)  
 (C.I. ピグメントブルー 15)  
 log Pow=6.6 (calc.) (ICSC, 2006)  
 (トリメチルベンゼン)  
 log Pow=3.4 through 3.8 (ICSC, 2002); BCF=328 (1,3,5-トリメチルベンゼン: 既存化学物質安全性  
 点検データ)  
 (メタノール)  
 log Pow=-0.82/-0.66 (ICSC, 2000)  
 (ミネラルスピリット)  
 log Pow=3.16 through 7.06 (ICSC, 2004)  
 (メタクリル酸メチル)  
 log Pow=1.38 (PHYSPROP DB, 2005); Log Kow=1.38 (20°C) (環境省環境リスク評価 第11巻, 2013)  
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)  
 log Pow=3.8 (ICSC, 2002)  
 (クメン)  
 log Pow=3.66 (PHYSPROP DB, 2005)

#### その他情報

この調合製品自体のデータは得られていない。

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。  
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。  
 承認された廃棄物集積場で処理する。  
 環境汚染を防止するために適切な容器等を使用する。

### 14. 輸送上の注意

#### 国連番号、国連分類

国連番号: 1263  
 正式輸送名:  
 塗料又は塗料関連物質  
 分類または区分: 3  
 容器等級: III  
 指針番号: 128  
 特別規定番号: 163; 223; 367

#### 環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質(該当/非該当): 該当

#### 特別の安全対策

直射日光、雨にばく露されないように運搬する。

#### バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(X類)  
 1,3,5-トリメチルベンゼン; トリメチルベンゼン; 1,2,4-トリメチルベンゼン  
 有害液体物質(Y類)  
 アクリル酸エチル; エチルベンゼン; エチレングリコールモノブチルエーテル; キシレン(異性体混合  
 物); 酢酸ビニルモノマー; スチレン; メタクリル酸メチル; メタノール  
 有害液体物質(Z類)  
 二酸化チタン

## 国内規制がある場合の規制情報

## 船舶安全法

引火性液体類 分類3

## 航空法

引火性液体 分類3

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

## 労働安全衛生法

有機則 第3種有機溶剤等

ミネラルスピリット; 低沸点芳香族ナフサ; ミネラルスピリット

粉じん障害防止規則(令19号)

二酸化チタン; カーボンブラック

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

エチルベンゼン; カーボンブラック; キシレン(異性体混合物); 二酸化チタン; 酸化第二鉄; 低沸点芳香族ナフサ; C.I. ピグメントグリーン 7; C.I. ピグメントブルー 15; 1,3,5-トリメチルベンゼン; 1,2,4-トリメチルベンゼン; ミネラルスピリット; メタノール

名称通知危険/有害物

アクリル酸エチル; エチルベンゼン; エチレングリコールモノブチルエーテル; カーボンブラック; キシレン(異性体混合物); クメン; 酢酸ビニルモノマー; 二酸化チタン; 酸化第二鉄; スチレン; 低沸点芳香族ナフサ; C.I. ピグメントグリーン 7; C.I. ピグメントブルー 15; 1,3,5-トリメチルベンゼン; 1,2,4-トリメチルベンゼン; ミネラルスピリット; メタクリル酸メチル; メタノール

別表第1 危険物(第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (30°C ≤ 引火点 &lt; 65°C)

## 化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

1,2,4-トリメチルベンゼン; 1,3,5-トリメチルベンゼン

## 消防法

第4類 引火性液体第2石油類 危険等級 III(指定数量 1,000L)

## 化審法

優先評価化学物質

酢酸ビニルモノマー; アクリル酸エチル; スチレン; 1,2,4-トリメチルベンゼン; エチルベンゼン; メタノール; エチレングリコールモノブチルエーテル; キシレン(異性体混合物); クメン; 1,3,5-トリメチルベンゼン; トリメチルベンゼン

## じん肺法

カーボンブラック; 二酸化チタン

## 悪臭防止法

キシレン(異性体混合物); スチレン

## 大気汚染防止法

有害大気汚染物質

アクリル酸エチル; エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); 酢酸ビニルモノマー; スチレン; C.I. ピグメントグリーン 7; C.I. ピグメントブルー 15; メタクリル酸メチル

特定物質 政令第10条第1号から第28号

メタノール

## 水質汚濁防止法

指定物質

スチレン; キシレン(異性体混合物); 酸化第二鉄; C.I. ピグメントグリーン 7; C.I. ピグメントブルー 15

## 適用法規情報

この物質に関する貴国又は地方の規制に関する調査は貴社の責任で処理願います。



---

## 16. その他の情報

### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN  
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)  
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>  
JIS Z 7253 : 2019  
JIS Z 7252 : 2019  
2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information

### 責任の限定について

この情報はこの特定の材料に関するものであり、この材料が他の材料と組み合わせられたり、処理されたときは無効です。この情報を自分自身の独特な取扱いに適合させ完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。

ここに示す情報は誠意をもって作成していますが、明記があるにしても保証はありません。これ以上の情報については当社にご相談ください。

この情報は、私どもの知識の及ぶ限りにおいて正確ですが、当社は内容の正確性又は完全性について、何も責任を取ることはできません。全ての材料を適当に使用する最終的決定の責任はユーザーのみのものです。全ての材料には、未知の危険性があり、取扱いに注意が必要です。ここには特定の危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないことは保証できません。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の見取りを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。